

りべら (Libella) はラテン語でトンボの意味です。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

りべら

2018.11

150

号

りべら
2018.11
150
号

淀川の秋の風物詩ハゼ釣り大会。親子でハゼ釣りを楽しみながら、川環境についても考えます。
(2018.9.22 第6回西淀川親子ハゼ釣り大会
主催:西淀川区・親子ハゼ釣り大会実行委員会)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-15あおぞらビル4階

特集:つながりを生み出す居場所づくり

あおぞら財団の居場所作り…1

西淀川の居場所作り…3

補助線のある公民館 喫茶ランドリー…5

地域の交通という居場所づくり…6

西淀川記憶あつめ隊 小西明さん…7

忙中一筆 門谷充男さん…8

新潟水俣病・公害スタディツアー…9

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり…10

みずしまだより…10

西淀川の暮らしを直撃! 台風襲来…11

あおぞらフォトギャラリー



西淀川区民まつりに出展。大経大のボランティア論の学生さん手作りのペットボトル・ボーリングを行い、防災絵本をプレゼントしました。(2018.9.15)



「ちゃんと走ろう」、「もっと自転車レーンを」のアピールに約600人が参加。第13回御堂筋サイクリックニック中之島公園にて。(2018.9.17)

あおぞら財団とは

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978～1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

あおぞらビル

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」

会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージム)

西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。【環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設】

開館日 月曜日と金曜日(10:00～17:00)/要事前電話予約

●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ



「銀杏基金会」のプログラムの一環として中国のNGOリーダー19人が西淀川に。国道43号で国土交通省の方の説明を聞いていただきました。(2018.9.21)

お知らせ

●第6回公害資料館連携フォーラム in 東京

- ・日時:2018年12月14日(金)～16日(日)
- ・場所:法政大学多摩キャンパスほか
- ・14日(金)フィールドワーク「東京の大気汚染公害の現場を回る」
参加費4000円
- ・15日(土)～16日(日)フォーラム
基調講演「市民の力でSDGsを活用する～ハードコア編」
講師 今田克司((一社)SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事)
参加費(2日間通し)会員4000円/非会員5000円/学生1000円
主催:第6回公害資料館連携フォーラムin東京実行委員会
事務局:あおぞら財団 <http://kougai.info>

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
(TEL)06-6475-8885 (FAX)06-6478-5885
電子メール:webmaster@aozora.or.jp <http://aozora.or.jp/>

会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

●賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。

【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、
法人・団体:年一口10,000円

●会費・寄附の振込先

*郵便振替口座 00960-9-124893 加入者名:あおぞら財団

*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店 普通 3764689

口座名義:あおぞら財団賛助会員

つながりを生み出す居場所づくり

家庭でもなく、
職場でもない居場所、
持っていますか？



ふだんの生活の中では、職場での自分、家族の自分というように、その役割にあったふるまいを期待されています。そういった役割からたまには離れて思い思いに自分らしく過ごしたり、やらなきゃいけないことではなくて自発的にやりたいことがやれる「居場所」、みなさんは持っていますか？ そういう「居場所」がある街は、住んでいる人を幸せにしたり、新しい何かを生み出したりするはず。

今回の特集では、まちのあちこちにそれぞれの人にとって居心地のよい「居場所」がもつと増えつつあるという思いで、いろいろな人同士をつなげる「居場所」、新しい何かを生み出す「居場所」を紹介합니다。谷

あおぞら財団の居場所づくり

公害患者さんの「手渡したいのは青い空」という思いを多くの人に広げ、公害を二度と起こさないためには、様々な立場にいる人々が協力しあえることが大事です。あおぞら財団では、多様な人が集う「居場所」はそうした協力の土壌になるのではないかとの思いから、様々な「居場所」づくりに取り組んでいます。谷



くじらカフェ

無農薬・無添加の素材を取り入れたパン・軽食・スイーツを提供しています。姫里ゲストハウスいこね併設。テーブル席の他に和室もあるので、小さな子ども連れの方、高齢の方にも人気で、ゆっくりとくつろいで時を過ごすお客様が多数います。ワークショップなどを行う交流の場としても活用されています。

いこね&くじらカフェ <http://aozora.or.jp/icone-kujiracafe>
Instagram https://www.instagram.com/himesato_house/



姫里ゲストハウス いこね

昭和初期の洋館付長屋住宅を活用したゲストハウス。西淀川大気汚染訴訟の弁護士の井上善雄さんが育った家で、想い出の残るこの場所を西淀川の地域のために活かしたいとの思いから、提供していただきました。西淀川に学び・遊びに来る人、西淀川に元々住んでいる人、新しく移り住んだ人など多様な人々が交流し、いろいろなことを話し合い、新しい「何か」を生み出す場所にしたいと考えています。



公害患者さんの居場所 「西淀川公害患者と家族の会」

「西淀川公害患者と家族の会」はあおぞら財団の生みの親といえる存在で、あおぞらビル2階に事務局があります。患者会の扉を開けると、患者さんが事務局の増本さんと楽しそうに笑っていることがよくあります。患者さん達はぜん息などの公害病がある上に、高齢になられているので外出すること自体が難しい方も多いのですが、患者会に来ることでリフレッシュしています。

増本さんにお話をきいたところ、「患者さんが事務所に来られたら、気分良く帰れるようにと思って接しています。この先、何があるか分からないから、後悔はしたくない。今までに何人も見送ってきた。患者さんはいっぱい苦労してきたから、ここに来た時にはほっとしてもらえたら。患者さん同士が仲良くなるのを見るのがうれしい。それで活動も楽しくな



患者会事務局 増本さん

あおぞらイコバ

<http://aozora.or.jp/ikoba/>
あおぞらビル1Fの地域交流スペース。2010年に殺風景な駐輪場だった場所を、地域住民や学生のボランティアによって交流スペースにセルフビルドして作り変えました。会議やギャラリー、DJイベント、雑貨市、英会話教室、気軽な集まりに使われています。



あおぞら市

第2・4水曜日に毎月2回、あおぞらイコバで開催。新鮮野菜やこだわりの食品、雑貨などの販売、足もみマッサージやワークショップの出店もあります。日頃スーパーでは見かけない珍しいお野菜を手に入れることができたり、店主さんに調理方法を教えてもらったり、普通のお買い物とは違った交流が生まれています。



代表理事 西川 奈央人

「塩入れすぎぢやう!」「皮どうやって剥くん?」
西淀川子どもセンターでは、「いっしょにご飯! 食ベナイト?」の活動で、様々な子ども達が、安心して夜の時間を過ごせる居場所作りに取り組んでいます。ワイワイ一緒に料理をして、宿題や遊んだりで土曜日の晩を楽しく過ごしています。11年間の活動の中で出会ったそれぞれの子ども

「いっしょにごはん！食べナイト？」



<https://www.facebook.com/nikopapanet>

にこパネット代表 山本智宏



パパの笑顔で
子どもと街を元気に！

西淀川区のパパの子育てを応援する団体「にこパネット」です。イベントを企画し、皆でアウトドアや釣り・クッキ

<https://www.facebook.com/pages/category/Community/>
にしよどリンク-943558889110405/

西淀川編

特集



異業種交流でつながる
「にしよどリンク」

企業とつながりたいけどコネがない。地域貢献したいけど何からすればいいの？ 私こんな事ができます。こんなことできる人探しています。などなど……

福祉をテーマに区内外の企業、商店、事業所、NPO、個人活動家、地域住民など、業種や世代を超えて様々な人が出会い、様々なコラボ事例などを生み出している異業種交流会」にしよどリンク」。

ブレゼンやグループワークでお互いを知るところから始まり、信頼関係を築きながら、コラボなど新しいカタチを創造している場であるとともに、家でもない学校や職場でもない第3の心地よい居場所「サードプレイス」を目指します。肩書きや上司部下などの区別もなく誰もが平等に参加できる世界一ゆるい異業種交流会です。

にしよどリンク運営幹事 多田修

【お問い合わせ】
西淀川区ボランティア市民運
動センター
千舟2-7-7
TEL/06-6478-2941
FAX/06-6478-2945





ぐるっと生瀬
http://guruttonamaze.com/



地域の交通という居場所づくり ―「ぐるっと生瀬」の事例を通して―

富山大学 准教授 猪井博登

孤独は健康を害する

英国ジョー・コックス委員会は、孤独は、肥満や喫煙よりも有害であり、健康を害すると指摘しています。これを受けて、英国政府は2018年に孤独対策大臣を新設し、孤独に関する実態把握、総合的な政策の展開がはじめられています。公共交通機関は人々が空間を共有するものであり、その利用において人々の接触が生じ、会話などが展開され、孤独が解消されることが期待されています。ただ、まちなかの公共交通を見ると、多くの人は、イヤホンをして携帯電話をいじっています。空間を共有するだけでは、必ずしも人々の交流がなされるわけではありません。

地域住民が中心に 運行しているバス

ぐるっと生瀬（西宮市）は、地

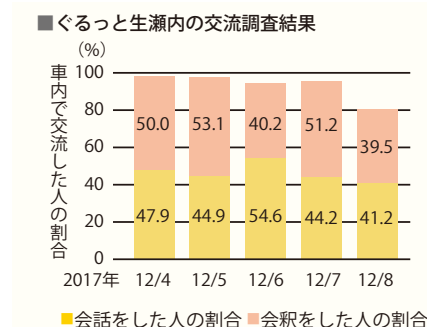


ぐるっと生瀬の運行経路と車両

域住民が中心となったぐるっと生瀬運行協議会が運行している地域交通です。この地域交通では、14人乗りの小型バスを使用して4ルートが運行されており、一日平均100人が利用しています。

車内は地域交流の場

ぐるっと生瀬内での交流の実態を把握するために、車内に乗り込んで、お話しの実態調査を行いました。その結果、車中に会話または会釈をする人の割合は90%前後であるという結果になりました。また、会話をしている人の割合も50%前後でした。久しぶりに車内で会ったという会話を耳にしたたり、ぐるっと生瀬の中でしか会わない友人がいると話す人もおり、車内は地域の交流の場とし



は大きく、車両の大きさ、運転手の声かけといった会話しやすい状況や会話の契機をどの程度行いかというソフ

交流を促す 公共交通の デザイン

交流を促進するためには、公共交通の運行だけで

重要要素となっており、会話を促すことが人々の縁をつくり、会話から交友関係が始まります。孤独は、深いつながりを有した人との別れなどで突然訪れます。広い範囲の交流があればこそ、孤独にさいなまれることが避けられると期待されます。地域交通がこのような機能を持つことも一つの可能性である事を知っていただき、地域の皆さんで地域交通の意義を考えていただく際の



喫茶ランドリー
http://kissalaundry.com/
東京都墨田区千歳2丁目6-9
イマケンビル1F



「喫茶」も「ランドリー」も知っている単語なのに、この2つが合わさるとすごく新鮮！いったいどういう場所なのか？オーナーの田中元子さんにお話をききました。

補助線のある 公民館 喫茶ランドリー

グランド レベルを 開かれた場所に



喫茶ランドリーを作ったきっかけは、田中さんが築55年の古いビルの活用について相談を受けたことです。「マンションが増えて人口は増えているのに、街の人通りは少ない。その原因はマンションの1階が他者を拒む空間になっているからではないか」と田中さんは考えています。そこで、ビルのグランドレベル（1階）を街に開かれた空間にするために、喫茶ランドリーを開店しました。開かれた空間にすると、外の人も中の人もお互いに見る、見られることになりま

多様な人が自由に
ふるまえる場所

「喫茶ランドリーは私設の公民館。誰もが自由にふるまえる場所です。1人でぼーっとしたい人はそうしていてもいい」と田中さんは言います。ですが、普通の公民館と大きく違います。「都市の中に受け身になれるチャンスはいくらでもある。かっこ良すぎる場所は委縮してしまつて、自分の道具として使いづらい。かといって、ダサイ場所では素敵な発想は生まれてこない。ここに来た人が使い手になれるように、能動的に動けるような補助線をデザインしている。絵を描く場合に真っ白な用紙をいきなり渡されても書きにくいでしょう」他者の気配を感じることもできるガラスの引き戸、半地下になっているモグラ席、6〜8人が使える大きなテーブル、まちの家事室。喫茶ランドリーは、多様な人によって同時多発的にいろ

んなことが起こる場。お客さんが発案したワークショップ、ママ友の集まりといった多種多様な使われ方をしています。

「まちの家事室」がある喫茶店

洗濯機を置いた理由は、いろんな人が来られるように洗濯機の他に、ミシンやアイロンもある、まちの家事室にしました。「昔は、井戸端、洗濯場がコミュニティの核でした。現代はマンションの片隅の気持ち良くない空間でルーチンワークをしないとけない。辛いですよ」この家事室でなら、日々の家事も楽しくできそうです。

人の価値は二分化されていく

田中さんは、人の価値観が二分化されていくのではないかとみています。「一つは異質な他者を拒み、無菌状態を目指す人々。もう一つは多様な他者を受け入れ開かれた公共に興味がある人々。喫茶

写真右:オーナーの田中元子さん



ランドリーは、ターゲットを限定していませんが、強いていうなら後者の人々が集う場所です」

公園や図書館といった行政の公共の場は、様々なルールが作られ、行動が制限されています。喫茶ランドリーは、ルールはなく、多様な人々が能動的に自由にふるまうことができる場所です。まちを豊かにしていくために、場所をデザインすることの大切さを感じました。◎

西淀川記憶あつめ隊

Vol.24



小西 明 さん

阪神出来島駅前でゆうせい薬局を経営しておられ、西淀川の薬剤師会の会長でもある小西明さんからお話を伺いました。

2018年9月20日
聞き取り

◆工場のお風呂

小西さんは1953年生まれ。1歳の時に大野にやってきました。当時はお父さんが大野でゆうせい薬局を営んでいました。健康保健の制度が整っておらず、病氣にかかったら病院でなく薬局に行く時代です。まちの人の健康は薬局が担っていました。大野は古河鉱業がある地域で、工場の人がお客さんにも多く、

工場で働くお客さんに工場内のお風呂につれていってもらったこともあったそうです。工場内のお風呂は広くて無料でした。「大野は子どもが多くて、駄菓子屋さんでお小遣い握りしめて一銭洋食を食べたなあ」と、小西さんが語る工場と共に過ごす町の様子は活気があって楽しそうでした。公害については「工場から毒々しい色の排水が流れてるのを見たけれど、それが公害やっ」と思い至ったのは、公害問題が騒がれてからだだったと、煙やにおいなどの公害の問題はあったけれど、当時は問題として捉えていたわけではなかったことが浮かび上がります。

◆ゆうせい薬局を出来島に

1960年代にはゆうせい薬局を出来島でも開業し、1985年頃に隣にあった牛乳屋が空いたので店舗を拡大しました。半日休みが月に二回で、12時間労働の「猛烈時代」。ボランティア



拡大した出来島駅前のゆうせい薬局(1985)

リグループの会議も夜中の2時までであったと振り返ります。「あのころはPOSシステムがなかったから、商品の値段は全部覚えてた。商品の値段は全変で、売れ筋の商品の勉強会を夜中にやったり、チラシを作ったり、共同仕入れのグループを作ったり。このグループは最初は府内だけだったけれど、今は全国区になってるよ」とのこと。システムが未成熟の中で小売

◆健康サポート薬局として

健康サポート薬局の認定は、ゆうせい薬局だけではなく、西淀川のほかの薬局でも進めており「西淀川区薬剤師会は人口当たりの健康サポート薬局数が日本一」となっています。

小西さんは地域の健康相談を担えるようにと、ケアマネージャーの資格までとりました。



「町の人と親しいだけではだめで、信頼されるためには知識も重要やし、相談を受けるためには心地よさも重要」ということで、2018年に新装オープンした新店舗には待合スペースと相談スペースが設けられています。2階には「ゆうせいホール」があり、セミナーや趣味の会に使えるスペースや、キッチンが整備された食育室があり、地域の人に貸し出ししています。出来島商店会は「インターナショナル出来島きら☆きら通り」と名乗って、外国人居住が多い地域の特性に対応したり、ユニークな活動を生み出しています。このスペースが出来島の文化と「ワクワク」した気持ちを作り出していくのだろうと感じたヒアリングでした。(林)

忙中筆

かがやけ
西淀川の子どもたち
地域のつながりに支えられて



門谷 充男 (かどたに みちお)

プロフィール：西淀川高校社会科教諭。西淀川労連議長。西淀子育てネット事務局長。プラザ歌島自治会副会長。プラザ歌島団地管理組合法人理事長を8年間務め、現在理事。趣味は歌うこと、走ること。教員バンド『ミックスモダン』ボーカル・ギター担当。



西淀子育てネット「マミング」

『かがやけ西淀の子どもたち』

詞・曲 『谷井勇』

♪川の流れて 守られながら
生まれ育った この街に
今日も行きかう 笑顔と笑顔
かがやけ かがやけ
西淀の子どもたち♪

1980年、学生時代を過ごした北海道から大阪に戻り、府立高校教員に。その後、結婚して西淀川に住み38年が経ちました。保育所や学童保育、地域の方々に守られながら育ってきた3人の子どもたちも、それぞれ自分の道を歩んでいます。

地域を結ぶつながりを

末っ子が小学校3年生で、たまたま学童保育の父母会長をしていた時に、個教育を考える会の遠地昭典さんから声がかかり、保育所や小中学校生の父母、教職員や保育士、指導員、地域の様々な団体、個人を結ぶつながりと、1993年に「子育てと教育を考える西淀川ネット

ワーク」(西淀子育てネット)を立ち上げました。今年9月に結成25周年を迎えました。年に一度の「子育てのつどい」や学習交流会、地域懇談会などを地道に続けてきました。西淀川子どもセンターや、にしよどおやこ劇場などにも講演をお願いしたり、つながりを持ちながら取り組んできました。

西淀川高校「環境」の授業

2005年には、二度目の希望が叶って西淀川高校に赴任。あおぞら財団と連携した「環境」授業を担当するなど、地域と結びついた取り組みを進めてきました。西淀川高校では3年生全員必修の「環境」授業を週2時

間行っています。地球規模の環境問題から西淀川公害、水問題や地域の歴史など幅広いテーマで、保育所の子どもたちを招いた農作業体験なども入れながら学んでいます。毎年秋には全校生徒教職員が協力して居住地の大気汚染計測(NO₂カプセル調査)を実施し、文化祭で展示してきました。公害学習の最後には、これも毎年患者会の方に来ていただいております。

区内に公立普通高校をと、地域住民の熱い要望で1978年に設立された西淀川高校も、再編整備の対象となり来年3月で41年の幕を閉じます。地域に支えられ、地域と結びつきながら取り組まれてきた西淀川高



校の実践が消えていくのは残念でなりません。

西淀川の財産を明日につなぐ

私自身、町会や管理組合、地域の労働組合などにも関わる中で、様々な人たちが、団体が有機的なつながりを作っていくことの大切さを痛感しています。来春をまた新たなスタートとして、西淀川の財産をどう明日につないでいくのか考えていきたいと思っています。

♪高い煙突 工場の煙
走る車も 多いけど
広がる青空 明日に伝えたい
かがやけ かがやけ
西淀の子どもたち♪

Oct-Bal (オクトバル)

たこ焼きには昼のイメージがあると思いますが、こちらはタコ焼きでワインを飲む「夜のたこ焼き」。イタリア風のトマトクリームはここでしか食べられない味です。タコフォンデュはチーズとたこ焼きのマリアージュ。特製のプレミアムソースはサラサラのソース。どれもワインと合います！生ハム切り放題 980円やワイン飲み放題 2000円もあります。



極(きわめ)

塚本駅前の柏里商店街の中にあるたこ焼き屋さん。レモンじょうゆで食べるたこ焼きがあり、これが新感覚。さっぱり食べられます。



ポン酢で食べる

たこ焼きもありますが、ここはレモンの香りが持続するようにと、レモンの皮のすりおろしをふりかけて、爽やかさを持続させています。店先でビールを飲みながら食べることも可能です。6個300円です。

第24回

burari yururi

ふらりとゆるりと 西淀川めぐり

昼のたこ焼き・夜のたこ焼き

西淀川には「粉モン」のお店がたくさんあります。どの粉モンもおいしいのですが、今回は大阪名物のたこ焼きをクローズアップします。林



所 千舟2-2-5
休 月
営 17:30~23:30
☎ 06-6195-6737

(イラスト:とりやまひろこ)



所 柏里3-3-6
休 月・木
営 10:30~20:00
☎ 06-6477-3334



多様な立場の「生の問題」に触れ、記録する

新潟水俣病・公害 スタディツアー 開催



去る8月30日〜9月2日にかけて、ユースを対象とした「新潟水俣病・公害スタディツアー」を開催しました(おおぞら財団主催、環境省平成30年度ユース世代による公害体験の聞き書き調査業務)。

このスタディツアーは、ユース世代が直接、公害に係った様々な立場の当事者に出会い、その経験について聞き取り、文字起こしをして記録化することで学ぶプログラムです。特徴的なのは、公害の被害者だけではなく、問題の解決に尽力した行政・企業や司法関係者なども含めた様々なステークホルダーの経験を、ユース世代という聞き手の力によって引き出し、記録することです。SDGsの達成をめざす今、かつて公害という未知の問題に直面した人たちがどのように公害の対策に努力し、環境改善に努めてきたのかということも、記録に残すべき重要な経験だと言えます。ツアーでは、四大公害裁判のトップバッターとして訴訟に立ち上がった弁護士や、治療に取り組んできた医師、患者を支えた市民運動団体の方などの

お話を伺いました。また、水俣病が発見された時の初動が早かった新潟県から、現在も積極的に取り組まれている啓発事業や福祉等の取り組みについてお話を伺いました。

そして今回、あがのがわ環境学舎の案内による昭和電工(株)旧鹿瀬工場(現在の新潟昭和(株))のフィールドワークと、原因企業である昭和電工(株)へのヒアリングを実施することができました。昭和電工(株)のご担当者からは「昭和電工グループのCSR活動、レスポンス・ケア活動の根幹には、新潟水俣病を引き起こした反省があります」と述べられた後、CSRレポートの報告や、被害者への補償を誠実に実施していきたいという説明をされました。詳しくは、本年度中にまとめられる報告書の完成を待っていたかなければなりません。参加者からの「これから先、同じことを繰り返さない自信はありますか」という質問に、きつぱりと「自信はあります」と回答された様子が印象的でした。参加者から寄せられた感想には、「与えられた知識を吸収す

ることに重点を置いた教育を受けてきた私にとって、(中略)これまでと違う点として、『生の問題』に触れたことが貴重な体験だった」という意見や「凄惨な被害が生じたことは知識として知ってはいたものの、人に毒を盛られ(と言ってもいいだろう)、生涯のほとんどを棒に振られた実体験を聞くと、怒り悲しみが静かに内に湧き出た学生は私だけではなかったに違いない。(中略)公害に対してある種傍観者のであった私の内面に、『私は将来、技術者として同様の公害被害を食い止めなければならない』という責任感が生まれた」といった声が寄せられています。書籍等にまとめられた説明や、教育のために整理された体験談から学ぶのではなく、当事者から生の声を聞き取ることによる学びは、ユースの皆さんにとって深いものになったようです。当事者の方々の高齢化が進む中、このような機会を設けることは年々、困難になっていきますが、「今」だからこそ取り組み意味のあったツアーになったと思います。(栗)



みずしま財団

岡山県倉敷市にある環境再生・まちづくり活動を行っている団体。倉敷大気汚染公害裁判の和解金の一部を基金として設立されました。おおぞら財団とは姉妹のような関係の団体です。「みずしまの今」を伝えます！

みずしまだより

みずしま財団資料保存スタッフ/森 久美

新連載

みずしま財団に資料保存スタッフとして週2日勤務する森久美さんに、資料に携わるスタッフの目線で連載していただきます。

倉敷を襲った 西日本豪雨

2018年7月5日から8日頃にかけて、日本列島の広い範囲で大雨となりました。岡山県においても7月では観測史上最多の雨量を各地で記録し、土砂崩れや浸水被害が起こり、断水や道路の寸断が発生、避難を余儀なくされた方も多くおられました。岡山県を流れる三大河川のひとつ、高梁川の支流の決壊により大きな被害を受けた真備地区は、倉敷市の北西部に位置します。私たちみずしま財団が所在する南部の水島地区には、7小・中学校に避難所が開設されました。豪雨の後、友人や知人と連絡を取り合いましたが、何らかの被害を受けた方が少なくありませんでした。私は岡山県

に暮らし始めて25年ほどになりますが、このように大きな災害に遭ったことは今までありませんでした。今回の西日本豪雨災害では、全国からご支援をいただき感謝しております。おおぞら財団からはLEDランタンをお送りいただき、避難所で活用されています。当財団では、避難所となった第五福田小学校を中心に、市による避難所立ち上げ時の支援や、避難者の要望把握及び避難所間の物資融通、都留文科大学生ボランティアによる「都留文カフェ」のコーディネートなどを行いました。支援にあたった職員は、物資の調達や避難所間の調整を通じて、人と人とのつながりの大切さを改めて実感したとのことでした。





西淀川の暮らしを直撃！

台風21号襲来！

9月4日に近畿圏を襲来した台風21号。大阪市で最大風速47m/s、最高潮位293cmを記録しました。浸水こそしませんでした、家屋被害、倒木、停電など様々な被害を西淀川区にもたらしました。今後の台風に備えるために、台風21号の西淀川での影響についてレポートします。



想定外の強風で生活に大きな打撃

あおぞら財団は、「みんなではなそう！」にしようど防災カフェ」にコーディネートとして参加した際や、「第45回西淀川区民まつり」に出展した際に、いろんな方から台風のときの体験をうかがいました。まず、みなさんから口々に聞

いたのは「風が強くて怖かった」ということです。「飛ばないと思っていたベランダのパケツや物干しなどが飛んで行ってしまい、他のおうちに迷惑をかけた」「ベランダの屋根や隣家との間の仕切りが飛んだ」「飛来物のせいで屋根が壊れた」とお話される方がいました。

西淀川区では2万戸以上という大規模な停電がおき、場所によっては3〜5日間と長期にわたって停電しました。「冷蔵庫の食品がダメになってしまった」「エレベーターの停止で、11階の自宅まで往復するのが大変だった」といった話や「停電でマンションの水が

止まるなんて知らなかった」と、断水は多くの人にとって想定外のことでした。

電車やバスは運休。淀川、神崎川、左門殿川で防潮扉が閉鎖され、国道2号、43号が通行止めに。「台風の当日は区外で仕事をし、夜になってからタクシーで帰ろうとしたが、国道を通れず普段なら20分なのに2時間以上かかった」

「台風の翌日、停電していない妹の家に行こうとしたら、バスが止まっていた」と、交通の麻痺による影響も大きいものでした。

その一方で、備えておいてよかったという話も聞きました。「モバイルバッテリーを充電しておいた」「カセットコンロがあったので料理ができた」「普段から使っているポータブルラジオが役立った」と、普段からの備えが役立ったようです。また、「近くに友達がいてよかった。洗濯機やお風呂、いろ



大野川緑陰道路ではたくさんの樹木が倒れていました

あおぞら財団にも影響

あおぞら財団の入っているあおぞらビルも、9月4日午後から9月8日早朝まで停電。古民家を改修したくじらカフェ＆姫里ゲストハウスいこねにも強風で屋根が破損するなどの被害がありました。また、西淀川在住のスタッフの中には、被害を受けた者もありました。

西淀川区内で停電が発生している間、くじらカフェ・いこねを充電力フェとして開放し、クーラー、洗面所、洗濯機1台、お風呂・シャワー1つを無料で使ってもらえるようにしていました。

川で防潮鉄扉が屋過ぎに閉められました。水防団は非常勤の公務員という身分ですが、地元住民で、災害時に地元を守るための活動をしています。淀川の水位は避難判断水位にまで達していませんでしたが自主的に避難する方がおられたため、台風の翌日から区役所の5階会議室を臨時に避難所（休憩所）に、翌々日から小学校などで避難所が開設されました。これをふまえ、9月末

防潮鉄扉により守られた西淀川、区役所の災害対応

台風当日のお昼過ぎには、浸水にそなえ、国、府、市、水防団によって淀川、神崎川、左門殿



9/15第45回西淀川区民まつりで体験談を集めました

5階会議室で災害物資の配布も行われ、ブルーシート2700枚、飲料水15000本、簡易トイレ1600セットが配布されました。また、大阪市水道局は5箇所で給水拠点を開設しました。

今後に備えるために

西淀川では10月になってもあちこちでブルーシートや落ちたままの看板、穴の空いたアーケード、根こそぎの倒れた樹木など、いたるところで台風21号の被害の痕跡が残っています。工事を請け負ってくれる修理業者が忙しくて修理できないという話もあり、あちこちで聞きます。

その後、9月末に台風24号が近畿地方に上陸しましたが、大阪市では、台風21号をふまえ、早い段階から自主避難へ

の対応がなされました。個人としての備えや災害情報の確認など自分で身を守ることは大事です。ですが、それだけでなく、個人では解決できないことについて共有すること、どうすれば解決できるのかといったことを考えていく必要があると思います。

にしよどがわ親子防災手帳

配布中！



あおぞら財団では、子どもと保護者が一緒に防災に取り組めるように「にしよどがわ親子防災手帳」を作成しました。防災をふだんの生活の一部に取り組み、気軽に日頃から防災に取り組んでみるヒントを掲載しています。

ありがとうございます

((2018年7月～9月 敬称略・順不同))

●入会

式地 清子

●寄附・寄贈者

Myrtle A.Fuji

新井 真

安藤 聡彦

伊藤 卓次

内田 寛

大西 愛

奥村 昌裕

片岡 直樹

川崎 美榮子

古賀 崇

酒井 健一

白神 加奈子

チャリティーショップKANAU

永田 賢介

西口 勲

西淀川子どもセンター

林 美帆

東大阪市職員

平石 勝司

松村 暢彦

宮本 知治

宮本 憲一

宮本 由貴

宮本憲一先生OB背広ゼミ

村杉 幸子

森 実千秋

山田 明

横山 篤夫

吉田 巖

逢坂 隆子

王 暁薫

江頭 説子

斎藤 恒

秀平 吉朗

小林 光

新田 保次

神長 唯

蔵本 幸治

桃山学院史料室 有志

萩野 直路



読者の声

大阪経済大学 経済学部
経済学科 3年 宮本 怜(みやもと れい)

この度は、お忙しい中、インターンシップに参加させていただきありがとうございました。

今回のインターンシップでは、創作ワークショップ「ドラム缶で絵本をつくろう」と第13回御堂筋サイクルピクニックにスタッフとして関わらせていただきました。

「ドラム缶で絵本を作ろう」では、芸術家の山田龍太さんとお話する機会があり、芸術家の方が普段どのような活動を行っているかなど、大学の講義では聞くことができない話をお聞きすることができ、良い経験となりました。

サイクルピクニックでは、アピール走行の走行リーダーをさせていただき、自転車に乗るときのルールやマナーを身に付けることができました。今回のインターンシップで経験したことを、今後の就職活動などに役立てていきたいです。10日間お世話になりました。ありがとうございました。



緑道散歩



台風21号によって、緑陰道路でもたくさんの樹が倒れましたが、そんな中でも美しく花が咲いていました(2018.9.22)

スタッフツイッター 編集後記

今回の特集で、喫茶ランドリーの田中元子さんのお話を聞きました。おしゃれすぎないけれどカッコいい場所で、近くにあっていいのには思いました。また、大学の同級生というよしみで、猪井先生に地域交通と孤独の解消について書いてもらいました。居場所のデザイン、しっかり考えていきたいテーマです。

りべら No.150 2018年11月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:谷内 久美子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp
デザイン:(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



あおぞら財団
The Aozora Foundation
公益財団法人 公害地域再生センター

「りべら」に広告を掲載しませんか?

年4回(季刊)発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】

中面1/9頁: 1万円/回、中面1/3頁: 3万円/回、中面 全面: 9万円/回
※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト ～エコでつながる西淀川～

【廃油回収量】
総合計45,068ℓ
(2009年7月から2018年9月まで)

2017年度 4,491ℓ
2016年度 4,123ℓ
2015年度 5,823ℓ
2014年度 7,064ℓ
2013年度 7,344ℓ
2012年度 6,472ℓ
2011年度 3,986ℓ
2010年度 2,509ℓ
2009年度 1,517ℓ

現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局:
浜田化学株式会社
06-6409-1555

広告

ディサービスセンター

あおぞら苑

あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL: 06-6475-0111 FAX: 06-6475-0114
URL: http://aozoraen.com/
運営: 社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日: 月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日: 月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数: 1日25人

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください

廃食油
リサイクル

使い終わった廃食油

食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣

廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。 [浜田化学 コンシェルジュ](http://www.hamadakagaku.co.jp) [検索](#)

浜田化学株式会社 ☎ 06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

広告

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中

～「いのちの平等」をめざして～

差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

・西淀病院
・のぞと診療所
・千北診療所

・ファミリークリニックあい
・姫島診療所
・ファミリークリニックなごみ

・介護老人保健施設よどの里
・在宅総合センターらくらく
・社会医学研究所

WHO認証
「地域健康増進支援事業所」
認証施設

看護師
募集中!

一般財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp